

議 事 録

業務件名	須崎市公共下水道施設等運営事業		
日 時	令和 2 年 11 月 20 日 (金)	自 13:00 ~ 至 14:00	
出席者	須崎市建設課 4名		
	須崎市環境保全課 2名		
	須崎市農林水産課 1名		
	(株) クリンパートナーズ須崎 (以下 CPS) 6名		
打合せ場所	須崎市役所	記録作成者	CPS
資料	・ 令和 2 年 10 月度モニタリング定例会資料 (CPS)		

打合せ事項、対策・合意事項等

令和 2 年 10 月度モニタリング定例会

1. 須崎市及び CPS の出席者を確認した。

2. 今月のセルフモニタリングのチェック項番について

- ・ 10 月度に確認すべきチェックリスト項番を示した。
- ・ 10 月から雨水管渠維持管理業務を開始している。

3. 経営に関する業務

- ・ 10 月度の財務状況を報告した。
- ・ 新型コロナウイルスについて、全国的に感染者数の増加が顕著であるため、対策を徹底する。
- ・ 10/16 に終末処理場及び場内雨水ポンプ場において、浦ノ内小学校の社会科見学会が行われた。
- ・ 10/21,22 に会計監査、10/29,30 に内部監査を実施した。
- ・ 10/23 にクリーンセンター横浪勤務社員を対象にコンプライアンス勉強会を行った。
- ・ 10 月度から、以下の業務について、第三者委託を行った。

○下水道経営戦略策定業務

○汚水管渠テレビカメラ調査

○浸出水処理施設 No.1 第一調整槽水中攪拌機更新

4. 汚水管渠

- ・ 10 月は、最大日降水量 85.0mm であったため、降雨後の巡視は実施していない。
- ・ 道路陥没リスク対象路線については、3 路線の巡視点検を行い、異常は確認されなかった。

(次項へ続く)

打合せ事項、対策・合意事項等	
5.雨水管渠	<ul style="list-style-type: none"> ・10月度から雨水管渠維持管理業務がスタートしたため、業務概要を説明した。 ・10月度は、多ノ郷排水区のマンホール蓋の巡視を行い、性能劣化の判定一覧表を示した。 ・今回判定による緊急対策箇所はないものの、がたつき、損傷が見られるものは要経過観察とする。 ・マンホールの緊急度は、マンホール内目視点検の結果と併せて報告することで、ご了承頂いた。
6.終末処理場	<ul style="list-style-type: none"> ・10月度は、過去5か年の実績値と比べて、流入水量・降水量ともに低い値であった。 ・放流水質は、全項目で目標値を満足している。 ・生物膜ろ過槽で詰まりが見られたため、逆洗を実施して対応しているが、今後も経過観察を行う。 ・10/29に半年周期で行っている塩素混和池の浚渫作業を行った。 ・土壌脱臭ファンの分解整備は、11/24に予定している。
7.クリーンセンター横浪	<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクルプラザでは、火災の再発防止として、小型家電類の分別を行っている。 ・環境保全課では、12月から小型家電類の処分を別事業者へ委託する予定である。 ・火災において焼失したソーラーパネルは、撤去されている。 ・浸出水処理施設の放流水質は全項目について、基準値を満足している。 ・浸出水処理施設 No.2 スケール分散剤注入ポンプの修繕は完了した。 ・今年度修繕予定機器及び来年度での修繕を推奨する機器について説明した。 ・安全衛生パトロールにおいて、環境保全課にて補修予定とされていた最終処分場の遮水シートの剥がれを確認し、補修は市が専門業者に依頼して行う旨、再確認したことを報告した。
8.漁業集落排水処理施設	<ul style="list-style-type: none"> ・戸島を除く各処理施設の汚泥引抜量について、現状と昨年度引抜量から、今回引抜量を提案し、了承を得た。戸島については検討中である。 ・今年度の汚泥引抜は令和3年1月に実施する予定である。
9.雨水ポンプ場	<ul style="list-style-type: none"> ・10月度の保守点検結果を報告した。 ・終末処理場内雨水ポンプ場のNo.3、4エンジンの不具合を報告し早期の改築更新を推奨した。 ・今後、建設課にてエンジン業者、維持管理担当者と協議を行い、当面、現在の機器における運転時間の延伸化等を検討し、来年度2基のエンジンの更新を予定しているとの説明があった。
10.その他連絡事項	<ul style="list-style-type: none"> ・11/25にDHS施設見学会の実施を予定。 ・次回定例会の開催を12月21日(月)で提案した。市で日程調整後回答を頂く。
	(以上)